

答案用紙

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号	I	-
------	---	---

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
 ○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

II	-	2																	
自治会組織からの要望を踏まえた地区計画素案作成支援業務																			
1 調査、検討すべき事項とその内容について述べよ																			
2 留意すべき点、工夫を要する点を含めて業務を進める手順について述べよ。																			
3 業務を効率的、効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。																			

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 調査、検討すべき事項とその内容

(1) 地区住民の意識の調査

要望のきっかけとなった住民の問題意識や地区に対する意識を、アンケート調査などによって可視化する①。

アンケートの立案では、予め住民にヒアリングし調査内容の妥当性を確認する②。

① ここは、調査・検討事項を書くところです。その最も重要な書くべきところを調査などと表現しては、答えが曖昧になってしまいます。また、可視化することを文末に持ってきていますが、これは調査の目的ですので、やることではなく理由として表現すると良いでしょう。→「・・・意識を可視化するため、アンケート調査を実施する。」

② これは調査の留意点なので、ここで書くのではなく手順で書きましょう。ヒアリングの前に内容を聞いては、調査にならないのではありませんか。留意点としても疑義があります。

(2) 都市計画における地区の分析

下記の①～④など③の都市計画上の基本情報を行政から収集して分析する④。

① 地区の人口動態

② 用途地域

③ 市街地開発事業の状況

④ 地区の歴史

③ 都市計画上の基礎情報は、用途地域、地域地区、建ぺい容積といった情報ではありませんか。人口動態や歴史など情報が混在しています。

④ 調査、検討事項なので文末は、「調査する」または「検討する」が望ましいです。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(3) 地 区 に 対 す る 自 治 会 ご と の 認 識 の 相 違 の 把 握
 アンケート調査や地区の現況を基に、各自治会⑤が
 地区に求めるニーズの共通点や相違点を把握する。

⑤ 自治会組織の発案は、複数あったのですかね。「各」の意図するところが不明です。

2 業 務 を 進 め る 手 順 と 留 意 点 、 工 夫 点

(1) ま ち づ くり 組 織 結 成 の 支 援
 地区計画を検討する住民主体のまちづくり組織の設
 立⑥を促す。⑦既存の自治会を母体としつつ、事業
 者などのステークホルダーや学識経験者といった幅広
 い関係者が参画できるよう留意する。それぞれの自律
 的な活動を促すため、メンバー構成を工夫する⑧。

⑥ (登記する)会社や機関などの組織を新しくつくることをいいます。この場合は、設置がふさわしいと思います。

⑦ 前後の文脈を分かりやすくするため、「設置にあたっては」を追記すると良いと思います。

⑧ 前述と類似していますので、どちらか一方で良いと思います。

(2) ま ち づ くり 組 織 の 運 営 支 援
 地区の課題を住民自らが見つけ出せることに留意⑨
 して、ワークショップや勉強会を開催し、参加者の主
 体的な活動を促すよう工夫する⑩。専門性が高い情報
 の理解促進にも留意し、専門家による講演会の開催な
 どを支援する⑪。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

⑨ 手順も書かずに留意点を書くのは不自然で、読み手は混乱します。最初に手順の内容を書きましょう。

⑩ これは、⑪の留意点に配慮した手段です。どちらか一方が良いと思います。

⑪ 公演の開催を支援するのではなく、公演の開催等により支援するものではありませんか。

(3) 地区内の広報の支援

住民が問題意識を共有できるよう留意し、「まちづくりニュース」発行で支援する⑫。紙媒体だけでなく、SNSも活用し、情報伝達チャンネルを増やすよう工夫する。

⑫ 前段は留意事項ではなく、機関誌発行の目的ですね。→「・・・共有できるように「まちづくり・・・」

(4) 地区計画素案作成支援

住民発案により、地区計画を作成する際、目標と方針、地区計画と地区整備計画の区域の設定が、都市計画マスタープランや用途地域などの都市計画との整合性が図られているかを住民が確認できるよう、リスト作成などの工夫を行う⑬。

⑬ 文が長いです。主語が変わる時は、文を一回切ると良いでしょう。また、やることを先に書きましょう。→「地区計画に定める目標、方針、区域等が、既存の都市計画と整合しているかを確認する。確認あたっては、住民自らが確認できるようチェックリストを作成する。このように、地域の主体性を尊重することに留意する。」

(5) 地元素案の周知と修正支援

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

地元素案^⑭を地区内のすべての住民に周知・共有の
うえ、さらなる検討ができるように留意し、説明会や
勉強会を、地区別や住民属性別に開催する^⑮。ファシ
リテーターの派遣などの工夫によって意見集約を支援
する^⑯。

⑭ 地元素案との表現は分かりづらいです。正確に書きましょう。→「地元住民が立案した地区計画の
素案」

⑮ 業務の内容と留意点をごちゃ混ぜにしないで、別々に書きましょう。業務内容は、説明会等の開催
で、開催にあたっての留意点は地区別（地区計画なのに地区別との表現も違和感があります）や属
性別に開催することではありませんか。ただし、この場合においても、なぜ地区別や属性別の開催
が更なる検討につながるのか分かりません。

⑯ 意見集約をするとありますが、業務は説明会または勉強会なのですよね。これらの会は、一歩通行
なので住民の意見を聞く機会はないのではありませんか。また、意見交換などでファシリテーター
を活用するなら理解できますが、前述の通り活用場面はないと思います。

※業務の内容や手順は、どれも住民の合意形成や意見把握ばかりです。地区計画の実務的な手段も必要
ではありませんか。また、工夫点や留意点もどれも似通っており、技術的アピールが不足していま
す。

3 関係者との調整方策

地区計画は、住民合意に基づいて進めることが前提
であるため、各時点で、地区住民やステークホルダー
などの関係者の意向を十分に反映するため、ヒアリン
グや勉強会、ワークショップを開催する^⑰。以上

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑰ 勉強会等を開催することはすでに手順で述べられており、重複しています。これらの協議会設置を前提として、効果的な調整方策を書くべきです。